



第 1341 回例会報告

平成25年11月21日(木) 晴

会長挨拶

会長 平山隆勇

会員セミナーを迎えて

今夜の例会は会員セミナーです。楽しみながらみんなで学べたらと思います。

さて、先月末から報道されている通り、食品の虚偽表示問題が底なしの状況になっております。

当然のことながら、今は世間の目が厳しく、偽装が発覚すると謝罪会見をし、マスコミの前で責任者が頭を下げ、それなりの社会的制裁を受ける事になります。

しかし、ロータリークラブが生まれた20世紀初頭は、だまされる方が悪い、法さえ犯さなければ金を儲けたものが成功者として讃えられるという時代でした。過酷な自由競争に晒されている人達にとって、胸襟を開いて語り合える友人を得るのは大変困難だったと思います。そんな時代背景の中で親睦を重視したロータリークラブという組織が誕生しました。

そして、一業種一人でたくさんの仲間が集まったのだから、お互いの商売を金儲けに利用し合ったらたらどうかということで、物質的相互扶助という考え方が起こってきたのです。この様に当初は自分の事業を発展させたいという考えに沿った対内的活動が主で、それを職業奉仕と呼んでいた様です。そこにアーサー・フレデリック・シェルドンという方が新しい奉仕理念をロータリーに提唱しました。

それは『事業の継続的な発展を得るためには、自分の儲けを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという考えを持って事業を営む』というものでした。『多くの人達のおかげで事業が成り立っているのであるから、利益を事業主が一人占めするので

はなく、事業に関係する人たちと適正に分ち合いながら事業を進めていくようにすれば、必ずその事業は発展していくはずである。また、この考え方が同業者に広がって行けば、業界全体の職業倫理が高まっていくに違いない』というのが、シェルドンの考える職業奉仕の理念だと言われています。

その後、時代の変化とともに、ロータリーは対社会的な奉仕活動の重要性を感じる人が多くなり、社会奉仕活動の比重が多くなり、その後世界平和を目指した国際奉仕活動も盛んに行われるようになりました。現在は、発展途上国の人たちの暮らしを助けるための世界社会奉仕の活動が脚光を浴びています。

以上が大まかなロータリーの奉仕活動の流れですが、ロータリーの歴史を振り返り、その原点を忘れることなく、現代の『職業奉仕』というものを考えていく必要があると思います、お話しさせて頂きました。

■出席報告

会員数	36名
出席対象	33名
出席者数	29名
出席率	88.1%
前回修正	93.9%

■ニコニコBOX

21名	30,000円
累計	465,000円
目標額	130万円
達成率	35.8%

■今週のことば

セヴ島の小学校の先生と「手に手つないで」をやってきました。

溝口幸二

16日に女房とドライブに行きました。恵那のサービスエリアで御子柴さんの会いました。世の中狭いですね。相手が女房でよかったです。

蒲池整志

■次回のプログラム

12月5日

青少年奉仕関係
青少年奉仕委員会



◇幹事報告◇

【報告事項】

- 1) 小口直久会員、元気に回復に向かっています。
皆様に宜しくとのことです。

【受領文書】

- 1) 岡谷RCウィークリーが届いています。

新会員予定者紹介

例会開催に先立ち、1月から入会していただける

宮坂英貴さんの紹介がスポンサーの高山会員からありました。昭和48年生まれ40歳の若い会員の入会です。よろしく願いいたします。



第1341回例会

職業奉仕委員会

会員セミナー

本日は、職業奉仕委員会による会員セミナーでした。

職業奉仕委員会の手作りによる会員セミナー用資料が配布されました。

内容は、まず各委員長の執筆による委員会の説明と現在の活動状況が示されています。続いて三村会員に提供いただいた「四つのテスト」「職業奉仕について」の2項により、ロータリーの特長などが記載されています。

3項目は、ウキペディアを利用したロータリーの歴史考え方が記されています。

最後の用語集は、膨大な量のロータリー用語集と

違い、諏訪湖クラブの中で日常よく使われる言葉についてわかりやすく解説されていました。3項目目と4項目目は高山委員長が作成しました。

「これは地区に見せて使ってもらった方がいいぞ」という言葉が出るほど素晴らしい出来の資料でした。

資料にのっとり、初めに各委員長と委員長代理が委員会の考え方と現在の委員会の活動内容について熱を込めて語っていただきました。

続いて「四つのテスト」考え方についての三村会員から解説がありました。

最後に、最近入会していただいた4人の方にロータリーに入会した感想を語っていただきました。



成山会員

小笠原会員



坂村会員

宮坂会員

どの話もとても面白く予定をオーバーしましたがあっという間に時間が過ぎてしまいました。

夜間例会は、簡単な盛り込み料理とカレーライスがメインの食事でしたが、お酒もすすみ最後まで盛り上がりました。

今回のセミナーは、新会員ばかりでなく、すべての会員にとってわかりやすく多くの疑問に答えるセミナーでした。ぜひ今後とも続けていただきたい企画でした。高山委員長ご苦労様でした。

(文責:雑誌広報委員会)

なお会員セミナーに使用しました資料は、長文ですがホームページに記載してあります